

第14回ビビンの会 感想 グループリーダー参加から見たビビンの会

間崎 愛美（会社員）

皆様はじめまして。第14回ビビンの会にグループリーダーとして参加させていただいた間崎です。

ビビンの会との出会いは2010年4月。スタッフをしている友人からの誘いで一般参加しました。第一印象は安心して参加できるコミュニティ。よくある交流会とは違い、ただの飲み会ではありませんでした。しっかり互いを認識し、理解しあう時間とプログラムが練られており、アットホームな空気の中楽しく過ごす事ができました。

そして友人スタッフからの誘いでボランティアスタッフとしてグループリーダー参加することになった7月、9月。少し違う立場から参加する事になり心掛けた事は「集まってくれた皆に心から楽しんでもらう事」「安心して自己表現出来るような空気感、場所を作る事」



グループディスカッションの結果発表です。

「楽しい」は伝染すると思うんです。だからまず自分がオープンな心で楽しむ事。そして自分のグループになった方と「楽しい」を共有する事。「楽しい」が伝染したらしめたもの。安心してできる空気の中、発言機会を作って、皆にまんべんなくバトンを渡す。皆に楽しんでもらえると私も嬉しい。もちろん私も一緒に交流に参加します。

他己紹介やディスカッション、項目は色々ありますが全てをクリアする事が目的ではありません。楽しんで互いを理解し、知りあう事が目的です。

今回のディスカッションでは、私のグループに中国・韓国・日本の3カ国の方がいらしたので、3カ国におけるコミュニケーション・人前での愛情表現の差について知ることが出来ました。こんなに近い国なのに中国・韓国は日本と

違い、人前での愛情表現において随分とおおらかでオープンで驚きました（日本の意識も、もう少し寛容でいいのになあ）なんて思った内容でした。

今はビビンの会を通して友人となった方々から、普段の勉強で分からなかった韓国語の疑問を教えてもらったり、逆に日本語表現の今一步の部分教えたり。料理を教わったり、浴衣選びに付き合ったり、一緒に旅行に行ったり、かけがえない友人を得る事が出来ました。

沢山の友人が出来る事、知らなかった文化を知ることが出来る事。なによりも楽しい時間を過ごせる事が私を引きつけるビビンの会の魅力です。改めてス

タッフの皆さま、誘ってくれた友人、ここで出会った友人たちへ。ありがとう。こうしたハッピーが皆に伝染するように祈っています。ビビンの会未経験の方は「次は」経験者の方は「次も」！皆でこの輪に飛び込みましょう♪



何か面白い話のようですね。
この二人は、著者と同じボランティアスタッフです。

ああ、楽しかった！！

